

米 小5

づくりに挑戦！タライでキヌヒカリ育つかない!? 今年は田んぼでも体験するよ！

5年生は社会科の授業で農業について学習します。そこで、総合的な学習の時間を活用して、米作りに挑戦します。昨年の5年生に引き続き、校庭の隅に大きなタライを並べて、自分たちの目の届くところで取り組むことにしました。今年は2人1組になって、ひとつのタライの稲の成長を見届けます。

米作りについては、平屋で農業をされている寺井憲治さんにご指導いただきます。タライ用の土の準備もお世話になり、子どもたちはタライに土を入れる作業を自分たちの手で済ませました。



作業の前に寺井さんから米作りについてお話をうかがい、これから取り組む作業についても教わりました。稲を植える前にタライの土を自分たちの手でかき混ぜて、代掻きの作業にも挑戦しました。

いざタライの苗植え、作業はあっという間に終わりましたが、肥料をまいて、水をはって、これから毎日のように校庭の隅のタライ苗を見守ります。

葉っぱの色、分けつの様子など、自分のタライの成長を観察しながら、美山での米づくりについてさらに深く学んでいきます。ぜひ校庭の隅にご注目ください！

芦生

フィールドワークに向けて

中1

中学校1年生は校外学習として、芦生の森を探索する「芦生フィールドワーク」を行なっています。今年は当初5月19日に実施する予定でしたが、緊急事態宣言が6月20日まで再延長されたことにもともない、2学期以降に行うことを検討しています。

「芦生フィールドワーク」に先立ち5月13日に事前学習として、「芦生もりびと協会」の長野敏さんに「芦生の森」のお話をさせていただきました。

芦生の森は、貝の化石が見つかることから海が隆起してできたことや、なぜ芦生の森には多くの種類の植物や芦生固有の植物が多くあるのかなど、興味深いお話をさせていただきました。実際に樹の枝を持ってきていただき、広葉樹と針葉樹の違いなど丁寧に説明していただきました。

今年予定している「芦生フィールドワーク」のコースは、昨年と同様、佐々里峠から美山町と京都市左京区の境界となっている尾根伝いに歩き、芦生杉の巨木が散在する森までを往復するコースです。生徒たちは芦生杉の巨木に出会える日を楽しみにしています。



今年も「美山町を花いっぱい！」

美山中学校では、昨年に引き続き地域の方と一緒に、「美山町を花いっぱい！」するため、美化作業に取り組みます。初回は7月2日14時50分から中学校前バス停の花壇で作業します。一緒にいかがですか？

元気な子どもたちの様子をお届け

ホームページでは、日々の子どもの様子を随時更新中です！美山学の取組についても紹介しています。ぜひご覧ください。



かや 小3

ぶき屋根について知ろう！年に2回の一斉放水をオンラインで見学

総合的な学習の時間に、美山のお宝について

調べている3年生は、そのひとつ、かやぶき民家について学習を始めました。美山と言えば「かやぶきの里」として知られるほどに知名度は高くなっていますが、実は子どもたちのイメージでは、「美山のお宝=かやぶき民家」ではありませんでした。あまりにも身近にあり、自分たちの暮らしの中に当たり前前に存在していることで、これまで意識してこなかったようです。世界中から多くの人が観光に訪れていることが分かり、



かやぶき民家のどこがすごいのか、実際に住んでいる地域の方にお話を聞きました。

また、かやぶき民家を火事から守る放水銃についてもお話を聞きましたが、ちょうど点検作業の一斉放水が実施されたため、オンラインで中継して、教室でその様子を見学しました。まだまだ知らないことがたくさんあった、かやぶき民家について、子どもたちは引き続き探究していきます。

分校 小2

高校生に教わる野菜作り！

2年生は生活科の学習で夏野菜を育てます。今年は美山分校の農業科3年生に教えていただくことになり、ビデオメッセージをいただいて、それを参考にしながら自分たちで野菜苗を植えました。

自分の植木鉢にトマト苗を植えたほかに、畑にはそれ以外の野菜で育ててみたいものを植えて、自分たちでタブレットを使って育て方を調べたりしながら、野菜作りに挑戦していきます。



美山分校の生徒たちから第2弾となるビデオメッセージが届き、成長過程での世話の仕方を教わりました。2年生にも分かりやすく、上手に作業ができました。高校生の助けを借りて、今年の野菜の収穫までが楽しい作業になりそうです。



教えてください！西の

鯖 小6

街道

社会科の学習で歴史について学ぶ6年生は総合的な学習の時間を活用して、美山町の歴史についてさらに深く学んでいきます。



これまで、自分たちなりに調べてきた美山の歴史について、意見を出し合い、その中から特に「西の鯖街道」について調べることにしました。本を見たり、家で話を聞いたりする中でもまだまだ分からないことが出てきます。そこで、西の鯖街道につ



いて研究されている、小畑正彦さんにお話をうかがいました。

なぜ美山を通ったのか？運ばれていたのは実は鯖だけでは無かった？若狭から京都まで何日くらいかかったのか？など、たくさんの疑問を解消していただき、ますます西の鯖街道に興味を沸かしたようです。